

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	おおきな木都島			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日 ～ 2025年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日 ～ 2025年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	おおきな木グループでの合同保護者会などのイベントにより、保護者のニーズを聞き出している。 卒業を見据えた、就業体験イベントがある。	年に一回の合同運動会の取り組みもしている	障がい特性に理解してもらう企業を増やす
2	日替わりのプログラムにより5領域を網羅している	子ども主体になるように、子ども自身にも活動の意見をいただく	子どもたちがもっと楽しいと思えるようなプログラムを子どもたちと考える。 楽しいの延長線上に信頼関係が芽生えると考えている。
3	保護者の預かりニーズにも対応している		保護者のニーズにこれからも可能な限り対応していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域での交流が弱い。薄い。	自事業所内での活動で精一杯だった。	近隣の企業や学校などにも積極的に交流できるようにコミュニケーションをとっていく
2	フロアが一つであり、静と動の区別化が難しい	ニーズをほとんど受け入れていた	頑丈な仕切りやカーテンレールを設ける。また、近隣に同ほ法人であるおおきな木大宮と連携をとって活動していく。
3	送迎対応に追われ、フロアの職員の人員が基準は保つが少なくなる場合がある。	ニーズをほとんど受け入れていた	送迎体制の見直し。生き生きなどで待っていただく可能性があることを保護者や子どもにも理解していただく